

小諸に元気と誇りを取りもどす

小諸の「食」・「農」を切り口に、新たに小諸の魅力を創造する

『小諸ブランド』

■小諸ブランド力向上事業とは…

「食」を考えるうえで欠かすことのできない農業。小諸市では多種多様な農産物が生産され、桃や苺の栽培・加工の普及、高原野菜や白土馬鈴薯の産地化などの歴史があります。近年ではワインや米の品質の高さが国内外で評価されるなど、小諸の農産物への注目度が高まっています。

そこで、小諸に元気と誇りを取りもどすため、小諸の「食」と「農」を切り口に、「小諸ブランド力」を高めたいと考えます。小諸で暮らす人や小諸を訪れる人に小諸の魅力を感じてもらうための取組みをすすめます。

「小諸ブランド」って何!?

「ブランド」と聞いて、「特定の商品や農産物」をイメージしがちですが、『小諸ブランド』はそれとは違います！

今後、10年後の小諸のありたい姿を設定し、ありたい姿を達成するために必要な「モノ・コト」を創っていきます。

「モノ・コト」は、「食・農」の分野から見つけていき、『小諸ブランド』として位置づけます。

ありたい姿を達成するために、『小諸ブランド』は欠かせない存在になります。



小諸の現在の姿



▶「小諸ブランド力向上事業」は、10年先の小諸を見据えて、事業を展開していきます。

小諸の「食」にまつわる資産がどのように認識されているのか、9月に市民と市外在住者を対象に調査しました。来月号で、調査から見えた小諸の現在の姿をご紹介します。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

▼問い合わせ先 農林課 小諸ブランド推進係

現在、浅間山の火山活動は、やや活発な状態が続き、噴火警

報が

発せ

られ

てい

る可

能性

も考

えら

れま

す。

現

在、

浅

間

山

の

火

山

活

動

は、

や

や

活

発

な

状

態

が

続

き、

噴

火

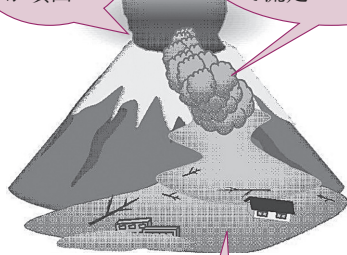
警

融雪型火山泥流イメージ

①噴火
高温の岩塊や軽石が噴出

②火砕流
数百度以上の高温、
100km/h近い速度で流走

③融雪型火山泥流
雪が溶けて土砂等と一緒に流下



▼問い合わせ先
総務課 防災係

また、平成25年に全戸配布した「浅間山融雪型火山泥流マップ」を、再度ご確認いただき、被害が及ぶ範囲の確認、災害発生時の避難の参考としてください。

戒レベル2が継続しています。「融雪型火山泥流」は、噴火に伴う現象なので、山頂付近に雪が積もっている時期に、噴火を察知したときは、自らの判断により早めに高台等の安全な場所への避難を心掛けてください。

雪が降り始めたら、
『融雪型火山泥流』に警戒!!